

## 社会福祉学科

## 社会福祉 専攻

科目名: 相談援助実習指導Ⅱ				担当教員 氏名: 鷹西 恒 松尾 祐子 中村 尚紀					
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考			
1	1年次	後期	専門科目	講義	選択	社会福祉士国家試験基礎受験資格(必修)			
実務経験を用いてどのよ:社会福祉士・精神保健福祉士としての実務経験を活かして、実習先の福祉現場の実状にそった事例などを用いて支 うな授業を行っているか: 援方法を体験的に学ぶ授業を行っている。									
授業科目の学習教育目標の概要:						キーワード			
実習に係る個別指導並びに集団指導を通して、相談援助に係る知識と技術について体得し、 社会福祉士として求められる資質、技能、倫理、自己に求められる課題把握など、総合的に対 応できる能力を習得する。						相談援助知識と技術、 実習へ向けての心構え			
授業における学修の到達目標									
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号)		1. 2. 3. 5. 6. 7. 8. 9. 10				
A 知識・理解力			実習する分野についての知識と実習施設についての理解をすることができる。						
B 専門的技術			実習する分野における当事者理解や援助技術を進めることができる。						
E 自己管理能力			実習に関する提出物や施設への調整連絡などの実習業務管理ができる。						
G 倫理観			実習現場に置いてソーシャルワークの価値と倫理に従って行動できる。						
H コミュニケーション力			実習における利用者や施設職員や実習指導者と適切なコミュニケーションを実践できる。						
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする									
テスト:	%	レポート:	40 %	発表:	40 %	実技試験:	%	その他:	20 %
特記事項: その他とは、授業規範の遵守、態度、姿勢のことである。アクティブラーニングとしてグループ学習・発表があります。									
アクティブラーニング要素: 課題解決型学習 ディスカッション、ディベート <u>グループワーク</u> <u>プレゼンテーション</u> <u>実習、フィールドワーク</u>									
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: 講義の中間・後半にまとめと振り返りを予定している。									
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: 評価を付けてレポートを返却する。									
授 業 計 画				準備学習(予習・復習等)					
				学習内容	学習に必要な 時間(分)				
①オリエンテーション(現場実習・実習指導の意義と位置づけ)				【事前・事後】テキストを読む	【予習】30分 【復習】30分				
②実習分野(施設・事業所・機関・団体・地域社会)に関する基本的な理解Ⅰ				【事前・事後】テキストを読む	【予習】30分 【復習】30分				
③実習分野(施設・事業所・機関・団体・地域社会)に関する基本的な理解Ⅱ				【事前・事後】テキストを読む	【予習】30分 【復習】30分				
④実習分野(施設・事業所・機関・団体・地域社会)に関する基本的な理解Ⅲ				【事前・事後】テキストを読む	【予習】30分 【復習】30分				
⑤実習分野(施設・事業所・機関・団体・地域社会)に関する基本的な理解Ⅳ				【事前・事後】テキストを読む	【予習】30分 【復習】30分				
⑥2年生の相談援助実習報告会へ参加				【事前・事後】報告書を読む	【予習】30分 【復習】30分				
⑦実習先で行われる関連業務(介護や保育)に関する基本的な理解Ⅰ				【事前・事後】レポート	【予習】30分 【復習】30分				
⑧実習先で行われる関連業務(介護や保育)に関する基本的な理解Ⅱ				【事前・事後】レポート	【予習】30分 【復習】30分				
⑨ボランティア体験実習報告会				【事前・事後】レポート	【予習】30分 【復習】30分				
⑩実習先で必要とされる相談援助に係る知識と技術に関する理解Ⅰ				【事前・事後】レポート	【予習】30分 【復習】30分				
⑪実習先で必要とされる相談援助に係る知識と技術に関する理解Ⅱ				【事前・事後】レポート	【予習】30分 【復習】30分				
⑫実習先で必要とされる相談援助に係る知識と技術に関する理解Ⅲ				【事前・事後】レポート	【予習】30分 【復習】30分				
⑬社会福祉士の倫理と倫理的ジレンマ、守秘義務と個人情報の保護				【事前・事後】レポート	【予習】30分 【復習】30分				
⑭実習システムと実習生の責務、事前学習の目的と方法				【事前・事後】レポート	【予習】30分 【復習】30分				
⑮まとめ(実習先の選定)				【事前・事後】レポート	【予習】30分 【復習】30分				
使用テキスト:「社会福祉士シリーズ22 相談援助実習・相談援助実習指導」弘 文堂、978-4-335-61189-6 福祉小六法 978-4-8058-3925-6 現代社会福祉用語の基礎知識 978-4-7620-2174-9				その他参考文献など: 社会福祉士受験資格科目の授業テキスト					
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): 原則として全授業に出席すること。レポート等の締め切りを守って提出をしなければ、本単位は認 定されないで、十分な覚悟の上履修してほしい。なお、2年次の実習については、授業成績が一定以上の者に限って認めるものである。									